

農業委員会の活動を
見える化！

ミエ〜ル通信

★★第13号★★
【2025年3月】

発行：福島市農業委員会事務局

おしえて
んだんだぼんだ！



んだんだぼんだ

「ミエ〜ル通信」オリジナルキャラクター

今回のテーマ「令和6年度こんな活動してました〜☆」

農業委員、農地利用最適化推進委員がこの1年間どんな活動をしていたのか見てみよう！

研修

農地利用最適化活動の先進的な取り組み事例を視察・スマート農業体験

最適化活動の推進と農業委員・農地利用最適化推進委員の資質向上のため、先進地視察を行っているんだ！

令和6年度は、喜多方市教育委員会で市内の小学校で取り組む「農業科」について説明を受けたよ☆阿賀野市農業委員会では、委員が中心となった地域での話し合い活動について学んだよ！長岡市のスマートアグリ長岡では、農業用ドローンやラジコン型草刈り機の操縦体験、農業用ハウスのエアコンやカーテン、水やりなどをプログラム制御で自動化する次世代園芸温室を見学してきたんだ☆

独自マニュアルを作成し全委員が同じ基準で活動できるよう工夫するなど、推進体制が確立した素晴らしい取り組みであると感じました。



農作業の省力化・簡略化に期待する一方で圃場環境や導入資金の課題も感じました。



▲低環境負荷の栽培施設を導入した次世代園芸温室の見学



▲農業用ドローンの操縦体験

意見

農業の健全な発展のため市長に意見書を提出

農業委員会等に関する法律第38条第1項の規定に基づき、市内の農業者が将来にわたって意欲と希望をもって働ける環境の整備と、持続可能な農業・農村の実現に向け、市の施策に対して具体的な意見を提出しているんだ！

提出した意見は、市の予算や事業に取り入れられるんだ。

農業委員・農地利用最適化推進委員が日頃の活動を通じて得た知識や経験、地域の農業者の声などを意見としてまとめるよ☆ 

意見書を手渡したあとは、テーマを決めて市長と意見交換を行っています。



「労働力不足解消対策」と「気象災害対策」について懇談し、活発な議論を交わしました。

切らずに繋ぐ 樹園地継承システム

後継者のいない樹園地を登録し、新たな担い手とマッチングする「樹園地継承システム」が令和6年4月からスタートし、2筆（3,772㎡）のマッチングが成立しました☆

樹園地継承システムについてはコチラ▶



活動報告 ~活動記録簿から~

遊 遊休農地の発生防止・解消

- ☞ 遊休農地の所有者へ今後の意向確認を行った。令和7年度から自分で耕作すると確認できた。
- ☞ 農地バンクへ貸付を希望する農家の意向を聞き、農業振興公社と打合せをした。

遊休農地など農地のことでお困りのときは、福島市農業委員会へご相談ください。